

いのち支える津山市自殺対策計画（案）に対するパブリックコメント実施結果

「いのち支える津山市自殺対策計画（案）」については、平成30年12月19日（水曜日）から平成31年1月18日（金曜日）までの間、ご意見を募集したところですが、次のとおりご意見のご提出をいただきました。

お寄せいただいたご意見と、それに対する津山市の考え方を取りまとめましたので公表します。
今回、ご意見をお寄せいただいた方々のご協力に、御礼申し上げます。

1 ご意見の提出状況

提出者 5名

意見数 16

2 寄せられたご意見と津山市の考え方

番号	ページ	標題	ご意見の概要	津山市の考え方
1	P. 5	年代別自殺死亡者数の推移	年代別自殺死亡者数の推移について、「の推移」は不要ではないでしょうか。	ご意見のとおり、「年代別自殺死亡者数」とします。
2	P. 5 P. 6	年代別自殺死亡者数の推移/ 職業別の推移	「年代別自殺死亡者数」の実人数は分かるが、各年代別人口に対する自殺死亡者数の割合の大小は比較できないのではないのでしょうか。 また、各職業別人口に対する割合についても同様です。	自殺者の年代別、性別及び職業別の現状を示すためのものであるため、現行どおり掲載します。
3	P. 10	5つの基本施策/普及啓発	この説明文の趣旨が自殺対策にとって非常に重要だと思います。様々な立場の幅広い世代へ普及が必要だと思います。	ご意見を参考に、普及啓発を推進していきます。
4	P. 10	5つの基本施策/普及啓発	社会全体で見守る意識を広めていくのは、なかなか大変なことだと思います。講演やセミナーなどの啓発活動に参加者が、いつも同じ人たちだけにならないような工夫が必要ではないのでしょうか。	ご意見を参考に、工夫して啓発を推進していきます。
5	P. 13	5つの基本施策/リスクの高い人への支援	思いつめている人たちは、周囲に「気軽に」相談しようという気持ちになれないのではないのでしょうか。昼間だけでなく、夜間でも悩み事を電話相談できる窓口を設けることはできないのでしょうか。	ご意見については、今後の相談体制の整備についての参考とさせていただきます。 また、民間団体では、「岡山いのちの電話」が夜間対応されていることから、相談窓口の一つとして啓発していきます。

番号	ページ	標題	ご意見の概要	津山市の考え方
6	P. 13	5つの基本施策/リスクの高い人への支援	各部局でたくさんの施策が実施されていることはよく分かりました。困っていることをどこに相談すればいいのか分からない人は多いのではないのでしょうか。「何でも相談窓口」があれば助かるのではないのでしょうか。	様々な事案に部署間でスピーディな連携対応ができるように、「庁内自殺対策ネットワーク会議」を開催するとともに、窓口職場職員がゲートキーパーとしての役割がとれるように、研修を実施することとしています。
7	P. 14 P. 26	5つの基本施策/リスクの高い人への支援、4つの重点施策/子ども・子育てに関わる自殺対策	「子どものショートステイ(子育て短期支援事業)」は当該事業になりませんか。	ご意見のとおり、「子どものショートステイ(子育て短期支援事業)」についても掲載いたします。
8	P. 18	5つの基本施策/組織連携	「ゲートキーパー」の養成には時間がかかりそうです。今は良い意味でのおせっかいな人がいなくなりました。そのような人が地域・職場等で声をかけ合える環境が欲しいです。町内会や事業所等への働きかけが更に必要と思います。	関係機関・団体と連携する際の参考とさせていただきます。 まずは、リスクの高い人に出会うことが多い関係職員や事業所に向けて、ゲートキーパー養成講座を実施することとしています。
9	P. 21	4つの重点施策/仕事に関わる自殺対策	セクハラ、パワハラはメンタルヘルス対策として重要なため、計画に掲載できないのでしょうか。	ご意見を参考に、「ハラスメント」について掲載します。
10	P. 21 P. 26	4つの重点施策	「庁内自殺対策ネットワーク会議」については、自殺対策について全庁的に総合的かつ効果的な対策を推進する会議体として位置づけていると考えられるので「仕事に関わる自殺対策」「子ども・子育てに関わる自殺対策」にも記載するべきではないのでしょうか。	ご意見のとおり、「仕事に関わる自殺対策」「子ども・子育てに関わる自殺対策」についても関連する事業として掲載します。

番号	ページ	標題	ご意見の概要	津山市の考え方
11	P. 30	関係機関・団体の取組	職業別自殺者数が男性は被雇用者・勤め人が最も多いことから、雇用側団体や労働団体が、市など関係団体と協力して自殺対策に当たるべきではないでしょうか。	関係機関・団体と連携する際の参考とさせていただきます。
12	P. 30	関係機関・団体の取組	津山歯科医師会でもうつ病など要支援者の早期発見・早期対応に取り組んでいただきたい。	関係機関・団体と連携する際の参考とさせていただきます。
13	P. 34	評価指標	目標値が現状値を下回っているものが多々あります。また、第2次健康つやま21の策定時から6年が経過していますので、目標値の再設定が必要ではないでしょうか。	現状値については、平成29年度に実施した第2次健康つやま21中間評価の結果です。 なお、本計画に記載の目標値については「第2次健康つやま21」計画において検討される事項となります。
14	P. 34	評価指標	百分率を用いて表している数字が、何の割合を表しているものか、説明がないため分かりにくいのではないのでしょうか。	現状値については、平成29年度に実施した第2次健康つやま21中間評価の結果です。注釈にその旨を記載することで対応させていただきます。
15	P. 37	計画の推進体制/関係機関・団体との連携体制	計画の推進体制及び関係機関・団体との連携体制の強化に向けた記述が必要ではないでしょうか。	ご意見を参考に、記載内容を充実します。
16	—	全般	総合的に全分野が網羅された計画と思われます。 ただ、そのために、津山市の計画としての独自性、特徴にやや欠ける気がします。 より具体的な対策・対応を特定の分野において行うこととするなど、どこかに力点を置いた計画にしてはどうでしょうか。	本案では、「地域自殺実態プロフィール※」から示された課題である「仕事」「高齢者」「生活困窮者」に対する各施策に、津山市独自の「子ども・子育て」に関わる課題に対する施策を加えた4点を重点施策としているところです。 ご意見については、今後の計画推進に当たっての参考とさせていただきます。 ※自殺総合対策推進センター（厚生労働省所管）が、地域ごとの自殺の実態を集約した資料